

第六次白石市総合計画指標見直しの方向性一覧表

(資料5-2)

■重点戦略1 次代を担う子ども輝き戦略

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
子どもの教育環境の満足度 (満足、まあ満足) の割合	市民アンケート	15%	50.0%	22.0%	17.6%	17.8%	30%	59.3%	18.7%	40%	44.5%	学力向上プロジェクト事業や不登校特別校運営事業の充実を図っていることから現状値を上回っているが、中間値達成には至っていない。全国学力・学習状況調査の結果が、全国平均を上回る学校も出てくる等、子どもたちの基礎学力は確実に向上しているものの、情報発信が不足していることが要因の一つと考える。	維持		企画政策課
子育て支援の満足度 (満足、まあ満足) の割合	市民アンケート	16%	53.3%	16.4%	10.8%	10.1%	30%	33.7%	-36.9%	40%	25.3%	学校給食費の無償化や子ども医療費助成の拡充等の経済的支援、子どもが無料で遊べる遊び場や公園等の施設の充実、夜間・休日の医療体制の充実等を求める意見が多いこと、情報発信が不足していること等が要因と考える。	維持		企画政策課
子どもを産みやすい環境 (産みやすい、どちらかというと産みやすい) と思う割合	市民アンケート	12%	60.0%	5.9%	6.0%	5.4%	20%	27.0%	-55.0%	30%	18.0%				企画政策課
子どもを育てやすい環境 (育てやすい、どちらかというと育てやすい) と思う割合	市民アンケート	32%	80.0%	22.3%	14.8%	16.3%	40%	40.8%	-49.1%	50%	32.6%				企画政策課

■重点戦略2 住民主体の地域づくり戦略

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
地域づくりを担う人材の育成		—	—	2地区	2地区	5地区	5地区	100.0%	—	全地区 (9地区)	55.6%	※ (2-3 協働のまちづくりの推進：地区計画の策定件数と連動している。地区計画の策定のための話し合い等を通して地域のことに関心を持つ住民が増えることが地域づくりを担う人材の育成に繋がると考えるため) 第六次白石市総合計画から取り組み始めた施策であり、また、地域の主体性を尊重するとの考えから全地区で一斉ではなく手上げ方式で進めているため、策定状況の動向が未知数であった。しかし、会議・交付金報告会・広報・公民館巡回の際の声かけ等様々な働きかけや、地区計画の策定と新交付金への移行が連動しているため、各地区の理解や関心が高まり、目標より早く地区計画を策定する地区が増えたと考えられる。	維持		まちづくり推進課
地域での支え合いの満足度 (満足、まあ満足) の割合	市民アンケート	30%	75.0%	32.5%	31.7%	29.7%	40%	74.3%	-1.0%	60%	49.5%	コロナ禍にあっても、まちづくり宣言の実現に向けて、まちづくり協議会をはじめ地域の活動を自主的に行う団体が育っていることから、現状値を維持しているが、中間値の達成には至っていない。女性や高齢者があらゆる場面で活躍できる環境づくりに課題があることが要因の一つと考える。	維持		企画政策課

■重点戦略3 まちの魅力づくり戦略

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
住みやすさの満足度 (満足、まあ満足) の割合	市民アンケート	47%	85.5%	36.5%	44.1%	39.9%	55%	72.5%	-15.1%	60%	66.5%	市アンケート結果は現状値を下回っており、子育て支援や企業誘致・働く場所、大型商業施設を含む店舗の充実を求める意見が多いこと、情報発信が不足していること等が要因と考える。	維持		企画政策課
本市に住み続けたい (ずっと住み続けたい) と思う割合	市民アンケート	27%	77.1%	33.2%	59.8%	60.9%	35%	174.0%	125.6%	40%	152.3%	市アンケート結果は目標値を上回っており、子育てに関する満足度が少しずつ上昇していること、安全・安心な医療の提供体制が強化されたこと等が要因と考える。	維持		企画政策課
市外からの移住世帯数 (定住促進事業申請者)		39世帯	65.0%	38世帯	33世帯	36世帯	60世帯	60.0%	-7.7%	80世帯	45.0%	移住相談や移住フェアへの参加、ホームページなどにより広く制度の周知を図っているが、移住の要因は補助金の有無のみで決められるものではないことや、人口減少及び住宅取得価格の高騰などによる社会構造の変化に伴い新設住宅着工戸数も年々減少していることも要因と考える。	縮小	国土交通省が公開している「新設住宅着工戸数の調査データ」によると、2006年度から減少傾向が続いており、直近のデータでは2006年度の2/3まで減少している状況である。また、新設住宅着工戸数の減少は、今後も続くと予想されており、2040年度には、2006年度の1/2まで減少することが見込まれているため。	まちづくり推進課

■重点戦略4 輝く未来地図戦略

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
本市での働きやすさの満足度 (満足、まあ満足) の割合	市民アンケート	13%	65.0%	16.1%	20.4%	20.7%	20%	103.5%	59.2%	30%	69.0%	市アンケート結果は中間値を上回っており、スマートインターチェンジ及びその周辺整備による企業誘致への期待が反映されていることが要因の一つと考える。	維持		企画政策課
働く場の創出 (企業誘致による従業員増加数)		—	—	0人	0人	0人	R3~R7 20人分	0.0%	—	R8~R12 30人分	0.0%	企業誘致のみによる従業員増加数としているため、誘致が行われた場合実績値を記載することとなるが、現実的には誘致が決まっても造成等を行う必要があり、当分の間実績値を記入することができない。	見直し	企業誘致のほか、増設等に伴う従業員数を増やすことで、より一層の働く場の創出につなげるため。	都市創造課
観光客入込数		1,198,379人	92.2%	866,782人	941,189人	1,111,668人	1,300,000人	85.5%	-7.2%	1,500,000人	74.1%	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が出されるなど、行動制限が行われ、国内外を問わず観光客が減少している。令和3・4年度においては、国の地方創生臨時交付金を活用して、デジタルスタンプラリーや宿泊割キャンペーンの実施、近隣観光客をターゲットにした東北六県のタウン誌に特集記事を掲載するとともに、SNSの充実強化を図るなど観光需要の回復を図った。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類になったことから、徐々に観光客が戻っているが、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の令和元年度には及んでいない。	維持		商工観光課

1-1 人・文化を育む

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
全国学力・学習状況調査の平均正答率	小学校 国語	62% (64.0%)	96.9%	64% (65.6%)	67% (67.0%)	67% (67.2%)	全国平均以上	99.7%	2.9%	全国平均以上	—	白石市学力向上グランドデザインを作成し、学力向上の取組について全市的に共通理解を図り、学力向上推進委員会を中心として計画的に実践を進めた。 全国学力・学習状況調査においては、国からの結果公表前に、各校において調査後すぐに自己採点及び誤答分析を行い、授業改善の原案を作成し実践を進めた。誤答分析はP D C A 前のR (リサーチ) の役割を果たし、各校の実態に応じた学習指導の改善と充実につなげることができた。 授業改善の前提として、各校において全教員を対象とした、調査問題を解き授業改善を検討する校内研修は、一人一人に当事者意識を持たせるには有効な取組であった。	維持	各校の誤答分析を基に小中連携の視点から授業改善の共通テーマを設定し、7月から各中学校区で授業実践、授業交流会を実施する取組が確立され、その内容が充実してきている。 一人一台のタブレットの整備が完了し、I C Tを活用した授業や、持ち帰りによる家庭での端末の活用等が一層進んでいる。また、A Iドリルの効果的活用を推進し、知識の定着や学び直し、つまづき解消等、個別最適な学びを進めた。	学校管理課
	小学校 算数	62% (66.7%)	93.0%	60% (63.2%)	60% (63.0%)	57% (63.4%)		89.9%	-3.3%		—				
	中学校 国語	66% (73.2%)	90.2%	67% (69.0%)	68% (70.0%)	55% (58.1%)		94.7%	5.0%		—				
	中学校 数学	51% (60.3%)	84.6%	44% (51.4%)	46% (51.0%)	48% (52.3%)		91.8%	8.5%		—				
	中学校 英語	46% (56.5%)	81.4%	実施なし	40% (46.0%)	実施なし		87.0%	6.8%		—				
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の点数	小学校 男子	52.52 (53.61)	98.0%	51.21 (52.52)	47.67 (52.28)	51.12 (52.59)	全国平均以上	97.2%	-0.8%	全国平均以上	—	県の事業である「魅力ある行きたくなる学校づくり」の取組として、不登校の未然防止に向け居場所づくり・絆づくりにおいて特に授業改善を柱に学校生活の改善・充実を図った。 体力向上に関して、体育の専科教員を配置し、県の体力向上事業と連携しながら取組を進めた。	維持	学校管理課	
	小学校 女子	54.41 (55.59)	97.9%	54.52 (54.64)	56.26 (54.31)	53.41 (54.28)		98.4%	0.5%		—				
	中学校 男子	40.55 (41.56)	97.6%	38.62 (41.18)	40.89 (41.04)	43.13 (41.32)		104.4%	7.0%		—				
	中学校 女子	49.68 (50.03)	99.3%	46.14 (48.56)	46.38 (47.42)	48.00 (47.22)		101.7%	2.4%		—				
学校は楽しいと思う児童生徒の割合	小学校	86.4% (85.8%)	100.7%	93.6% (84.7%)	89.4% (85.3%)	84.2% (84.8%)	全国平均以上	99.3%	-1.4%	全国平均以上	—	維持	学校管理課		
	中学校	74.5% (81.9%)	91.0%	86.4% (82.9%)	76.4% (81.8%)	85.9% (83.8%)		102.5%	12.7%		—				

1-2 地域・家庭の教育力の向上

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	最終目標 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
学校支援ボランティア活動回数	実績より	1,174回	94.9%	1,133回	1,209回	627回	1,237回	50.7%	-46.6%	1,291回	48.6%	コロナ禍で学校支援ボランティア活動が減少し、5類に移行した後もコロナ前の水準に戻っていない状況にあるため、目標達成には至らなかった。	縮小	学校支援ボランティア活動がコロナ前の水準に戻っていないことや、少子化に伴う児童数減少により学校からのボランティア要請が減少したこと、またボランティアの高齢化による人材不足などで活動回数が減少しており、実績値と中間値・目標値に乖離があることから、中間値を実績値直近3年の平均値とし、現状値 (R1) の水準を超えることを最終目標とするため。	生涯学習課
放課後子ども教室参加者の満足度	放課後子ども教室アンケート	93%	97.9%	93%	94%	94%	95%	98.9%	1.1%	98%	95.9%	初めて参加する児童や低学年の児童の中には、活動に慣れるまで時間がかかったり異年齢との交流に不安を感じることがあり、目標達成には至らなかった。	維持		生涯学習課

1-3 生涯学習・スポーツの推進

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	最終目標 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
課題解決型の共同学習に取り組む地区数	実績より	3地区	50.0%	3地区	5地区	7地区	6地区	116.7%	133.3%	全地区 (9地区)	77.8%	越河、斎川、大鷹沢、白川、福岡、深谷、小原地区の7地区で共同学習の場が設けられ、それぞれの地域の課題について学ぶことができた。	維持		生涯学習課
スポーツ少年団加入率	実績より	13.70%	97.9%	12.22%	12.96%	11.90%	14.00%	85.0%	-13.1%	14.20%	83.8%	近年、スポーツ少年団に属さない活動をする子どもたちが増えてきており、目標達成には至らなかった。	縮小	近年の出生率低下による子どもの減少に加え、スポーツ少年団活動以外にも多種多様な活動が増えてきており、実績値と中間値・目標値に乖離があることから、中間値を実績値直近3年の平均値とし、現状値 (R1) の水準を超えることを最終目標とするため。	生涯学習課

1-4 歴史遺産・伝統文化の継承と活用

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	最終目標 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
ワークショップ・講座などの開催回数	実績より	0回	0.0%	12回	12回	5回	6回	83.3%	—	10回	50.0%	令和3年から令和4年度まで開催していた講座の目的が達成され、講座を終了したため、令和5年度は回数が減少し、目標達成には至らなかった。	見直し	講座の回数は、その講座の目的が達成してしまうと終了し、一時的に回数が減少に転じてしまうなど、不安定な指標となることから、講座や講演会等の内容を評価する (満足度) 指標に見直すため。	生涯学習課
地域の歴史文化を紹介する講演会の開催回数	実績より	3回	100.0%	2回	3回	2回	3回	66.7%	-33.3%	3回	66.7%	講演会は令和5年度は2回の開催であるが、市民向けの講演会の開催だけでなく、市内の小学校や中学校への出前授業を受け入れや、企画展の開催など、様々な世代に白石の歴史文化を紹介する機会を設けたため、市民向けの講演会の回数が減少した。	縮小	講演会のイベントに限らず、企画展を開催するなど、様々な世代に、様々な形で白石の歴史文化を紹介する機会を設け、講演会に限らず、企画展の開催等にも注力するため。	生涯学習課
広報しろいし・市公式サイトなどへの記事掲載回数	実績より	1回	8.3%	4回	9回	5回	12回	41.7%	400.0%	20回	25.0%	イベントの回数が左右されてしまい、講座の終了などによって掲載回数が減少した。	縮小	大河ドラマで主人公になっている人物など、市民等が関心がある要素を取り入れながら、その人物と白石の歴史との関連について紹介した内容の掲載など、回数を減らしても内容が濃く、工夫した記事の掲載に努めるため。	生涯学習課

2-1 これからの時代に対応したコミュニティの形成

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
第2層生活支援コーディネーターの配置地区数	第9期介護保険事業計画	5地区	71.4%	5地区	5地区	6地区	7地区	85.7%	20.0%	全地区 (9地区)	66.7%	第2層生活支援コーディネーターの活動には地域のまちづくり協議会(公民館運営組織)や地域団体等との協力や連携が必要不可欠である。未設置地区のまちづくり協議会等へ趣旨の説明を継続して働きかけが必要。	維持		長寿課
通いの場の活動地区数 (週1回以上活動)	実績による	6地区	85.7%	8地区	8地区	8地区	7地区	114.3%	33.3%	全地区 (9地区)	88.9%	社会福祉協議会へ委託しているサロンへの支援事業や、地域包括支援センターの開催するいきいき百歳体操スタートアップ事業などにより、新たなサロンの設立が進んだことによるもの。	維持		長寿課

2-2 持続可能な多機能型自治の形成

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
ふるさと納税における地域団体の御礼品の件数	ふるさと納税事業者管理台帳	0件	0.0%	0件	0件	0件	3件	0.0%	-	9件	0.0%	各地区の地域団体は、地区公民館の指定管理料や交付金等を中心に運営されており、非営利団体としての地域活動が主となっている。そのため、これまで営利目的の商品提供の機運はなく、自主財源の確保を目的としたふるさと納税事業への参加はなかった。	維持		企画政策課
各種研修会の開催回数		0回	0.0%	6回	9回	4回	2回	200.0%	-	2回	200.0%	施策の推進(白石地区の地域づくり体制整備支援)のために研修会の開催の必要性があったことから想定よりも開催が多くなり、達成となった。	維持		まちづくり推進課
相互交流会の実施回数		0回	0.0%	2回	4回	7回	2回	350.0%	-	2回	350.0%	施策の推進(白石地区の地域づくり体制整備支援)のために相互交流会の開催の必要性があったことから想定よりも開催が多くなり、達成となった。	維持		まちづくり推進課

2-3 協働のまちづくりの推進

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
市民活動支援センターの総使用件数	報告書による実績値	319件	95.2%	199件	164件	183件	335件	54.6%	-42.6%	350件	52.3%	市民活動支援センターは、市民フォーラムが補助金の交付を受け、センターの自主的な運営にあっているが、構成団体の減少・後継者不足などの理由により活動が停滞している状況である。また、コロナ禍における活動自粛等により利用者が大幅に減少したと思われる。さらに、登録団体数の減少も使用件数の減の要因であると考えられる (R1:40団体→R5:31団体)	維持		まちづくり推進課
地区計画の策定件数		0地区	0.0%	2地区	2地区	5地区	3地区	166.7%	-	全地区 (9地区)	55.6%	第六次白石市総合計画から取り組み始めた施策であり、また、全地区で一斉ではなく手上げ方式で進めているため、策定状況の動向が未知数であった。しかし、会議・交付金報告会・広報・公民館巡回の際の声がけ等様々な働きかけや、地区計画の策定と新交付金への移行が連動しているため、各地区の理解や関心が高まり、目標より早く地区計画を策定する地区が増えたと考えられる。	維持		まちづくり推進課

2-4 市民と行政の情報の共有化

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
市ホームページの閲覧数		639,171件	88.9%	713,068件	598,476件	577,257件	719,000件	80.3%	-9.7%	794,000件	72.7%	様々なSNSの普及や利用者の増加等により情報取得の方法が多様化しており、結果的に市ホームページ閲覧数が減少していると思われる。	縮小	市ホームページは依然として重要な情報取得のツールであるものの、現在は様々なSNSの普及や利用者の増加等により、情報取得の方法が多様化している。今後もHPに限らず、市公式SNSなどの様々な媒体で情報発信を強化していくため。	総務課
LINE、Facebookの友だち数		2,171件	31.9%	5,699件	6,093件	6,377件	6,800件	93.8%	193.7%	10,800件	59.0%	LINE、Facebook以外にも市公式SNSアカウント (Instagram、YouTube) があり、フォロワー数 (ともだち数、登録者数) が分散している可能性がある。	見直し	現在、市公式SNSアカウントとしてLINE、Facebook、Instagram、YouTubeを運用し、各媒体で様々な情報発信を行っている。また、情報発信力強化元年に位置付けた令和6年度に取り組んだ「SNS情報発信力強化業務委託事業」の効果もあり、特にInstagramのフォロワーが増加していることから今後もSNS研修等を実施し、Instagram、YouTubeを含めた情報発信力を向上させていくため。	総務課

2-5 持続可能な行財政運営

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
経常収支比率	財政状況資料集	91.4%	99.6%	84.8%	92.4%	92.9%	91.0%	98.0%	98.4%	90.0%	96.9%	歳入面では、市税や普通交付税が増加しているものの、臨時財政対策債が大きく減少している。 歳出面では、賃金上昇に関連する人件費や扶助費の増加、ふるさと納税寄附金の増加に伴う物件費の増加により、全体として経常経費が増加している。	維持		財政課
実質公債費比率	財政状況資料集	6.1%	98.4%	3.0%	2.8%	3.7%	6.0%	162.2%	164.9%	6.0%	162.2%	令和5年度までの数値については、目標値を大幅に下回り達成している状況にある。要因としては、交付税措置のある有利な地方債を発行していること、市税や普通交付税などの一般財源の増加などが考えられる。 しかしながら、実質公債費比率については、過去3年間の平均値としていることから、過去の数値が大きく影響し、令和5年度単年度で見ると、6.18%となり、目標値を達成できていない。	縮小	今後の見直しとしては、 ・子育て支援拠点の整備や老朽化している公共施設の更新・長寿命化など、大規模な公共事業を実施する予定であること ・一部事務組合でも、消防施設整備を予定しており、他団体に対する公債費負担も増加する見込みであること ・病院事業について、令和5年度から市の病院事業となり、公債費のすべてが本市の負担となったこと ということで、公債費の増加が見込まれており、当初計画とは大きく状況が変化している。 しかしながら、大型の公共事業を進めるにあたって、地方債は大変重要な財源であり、活用なくしては今後の事業を進めることができないものと考えている。そのため、現在の目標値から設定を上昇させる必要があると考える。 このことを考慮しながらも、標準財政規模に対する公債費を抑える必要があることから、目標値を類似団体の過去5年の平均値とする必要があるため。	財政課
ふるさと納税寄附金額	決算書	564,739千円	94.1%	750,384千円	644,269千円	524,361千円	600,000千円	87.4%	-7.1%	1,000,000千円	52.4%	令和3年度以降、物価高騰の影響により全国的に日用品への寄附が増加し、本市の主力返礼品であるデザート部門への寄附が減少、併せて令和5年度の経費率の見直しの影響などから寄附額が減少したものである。	維持		ふるさと納税推進室

2-6 社会の変化に対応できる職員の育成・確保

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
職員の研修派遣人数	人事行政の運営等のあらまし	318人	87.1%	351人	371人	333人	365人	91.2%	4.7%	393人	84.7%	業務の多様化、習熟した職員の退職等に起因する業務多忙により、各所属において、研修に参加する職員の日程を調整することに苦慮することがあるため。	維持		総務課

3-1 地域福祉の推進

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
地域包括ケアシステムの構築	第7期白石市障害福祉計画	未構築	未達成	構築	構築	構築	構築	達成	-	構築	達成	地域包括ケアシステムを構築に必要な協議の場を設置したことにより目標を達成した。また、これまで医療分野（健康推進課）と福祉分野（福祉課）が主であったが、介護分野（地域包括）からの参加も増え協議の幅が拡大した。	維持		福祉課
第2層生活支援コーディネーターの配置地区数	第9期介護保険事業計画	5地区	71.4%	5地区	5地区	6地区	7地区	85.7%	20.0%	全地区 (9地区)	66.7%	第2層生活支援コーディネーターの活動には地域のまちづくり協議会（公民館運営組織）や地域団体等との協力や連携が必要不可欠である。未設置地区のまちづくり協議会等の趣旨の説明を継続し、継続して働きかけが必要。	維持		長寿課

3-2 子ども・子育て支援の充実

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
乳幼児健診受診者数 (3歳6カ月児健康診査受診率)	白石市保健事業活動計画書	98.7%	98.7%	97.5%	100.6%	93.6%	100%	93.6%	-5.2%	100%	93.6%	受診予定月に未受診となるものと、達成率の100%に到達できないことがある。健診としては全員の受診を目指すため変更は行わない。	維持		健康推進課
待機児童数	平成31年4月1日現在待機児童数	26人	-	0人	0人	0人	0人	達成	-	0人	達成	令和2、3年度において、小規模認可保育園（カラズ白石園）と私立保育園（白石のみり保育園）の新設や私立幼稚園（ひかり幼稚園）の認定こども園化により保育の受け皿が拡大し、令和3年度以降待機児童は解消された。	見直し	少子化が進行する中においても、本市で令和6年9月に策定した「白石市幼児教育・保育のあり方に関する基本方針」に基づく取組や社会情勢の変化などに伴い、（低年齢児の保育ニーズの増加など）保育ニーズが変動していくことが見込まれるため。	こども未来課
こじゅうろうキッズランド来館者数	令和元年度実績	84,960人	100.0%	51,283人	73,047人	91,747人	85,000人	107.9%	8.0%	86,000人	106.7%	定期的な独自イベントの開催と、SNSやホームページによる情報発信の強化を通じて利用促進に取り組んだところ、利用者の増加につながった。	維持		子育て支援課

3-3 高齢者福祉の充実

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
通いの場への参加率 (週1回以上)	実績による	3.7%	52.9%	4.7%	6.2%	6.2%	7.0%	88.3%	67.0%	10.0%	61.8%	既存の通いの場は会員同士の関係性が構築されており、新規会員の参加がしにくい。新たなサロンの立ち上げ支援等を継続することが必要。	維持		長寿課
要介護（要支援）認定者認定率	厚生労働省「見える化」システム	17.4%	97.2%	17.2%	16.7%	16.3%	17.9%	91.1%	-6.3%	19.0%	85.8%	本指標において達成率の下降は、介護認定を必要としない住民の増加を指すものであり、健康寿命を延ばすことを目的とした介護予防施策の効果が表れたもの。	維持		長寿課

3-4 障がい福祉の充実

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
成年後見制度利用数	第7期白石市障害福祉計画	0人	0.0%	0人	2人	0人	1人	0.0%	-	2人	0.0%	親なき後の相談は増加傾向であるが、市長申立てによる制度利用は少ない。今後更なる周知が必要。制度維持のためには、保健師や社会福祉士の配置のある地域包括支援センターとの連携を図り、権利擁護を推進する。	維持		福祉課
地域生活支援拠点の整備	第7期白石市障害福祉計画	未整備	未達成	整備	整備	整備	整備	達成	-	整備	達成	地域生活拠点を仙南2市7町による共同整備したことにより、相談、緊急時の受け入れ・対応体制、体験の機会・場の確保、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくりの強化が図られた。	維持		福祉課

3-5 地域医療体制の充実と健康づくりの推進

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
特定健康診査受診率	決算にかかる主要施策の成果等に関する説明書	36.8%	81.8%	39.6%	40.6%	43.0%	45.0%	95.6%	16.8%	50.0%	86.0%	特定健康診査受診勧奨事業を外部委託したことにより、より詳細な分析を行い対象者に合った勧奨を行うことができた。	維持		健康推進課
メタボリックシンドローム及び予備群該当率	法定報告	36.8%	81.5%	38.9%	37.8%	39.1%	30.0%	76.7%	-5.9%	26.1%	66.8%	メタボリックシンドローム及び予備群該当率は若年層よりも40歳以降の比率が高い傾向がある。国民健康保険被保険者は高齢者が多く、構成割合から該当率が高くなったと考える。	縮小	国民健康保険被保険者の年齢等の構成割合を考慮し、これまでの推移を踏まえて見直しする必要があるため。	健康推進課
がん検診受診率	胃がん	17.0%	42.5%	18.2%	17.1%	16.8%	40.0%	42.0%	-1.2%	50.0%	33.6%	高齢者人口の増加、就労女性の増加により医療機関や職場検診で受診する人が増加した。	縮小	市の検診受診率の現状を踏まえて見直しする必要があるため。(令和7年度からの第3次健康プランは3月に決定するため、中間評価、目標値は暫定)	健康推進課
	肺がん	32.8%	82.0%	33.0%	31.9%	33.0%	40.0%	82.5%	0.6%	50.0%	66.0%				
	大腸がん	30.9%	77.3%	32.2%	30.2%	31.1%	40.0%	77.8%	0.6%	50.0%	62.2%				
	子宮頸がん	28.7%	71.8%	33.1%	31.7%	32.0%	40.0%	80.0%	11.5%	50.0%	64.0%				
	乳がん	37.5%	93.8%	37.2%	36.5%	36.1%	40.0%	90.3%	-3.7%	50.0%	72.2%				
	前立腺がん	34.1%	85.3%	36.2%	34.1%	35.1%	40.0%	87.8%	2.9%	50.0%	70.2%				

4-1 防災・減災対策の充実

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
総合防災訓練参加者数	令和元年度白石市総合防災訓練参加者数実績値より	3,687人	87.8%	311人	1,300人	2,148人	4,200人	51.1%	-41.7%	5,000人	43.0%	本市の総合防災訓練については、令和2年度から4年度までコロナ禍のため規模を縮小して開催したため訓練参加者数は大幅に減少した。令和5年度からは通常規模に戻し、以前と同様市民参加型の防災訓練として開催し、また市内小中学生全員が授業日として訓練に参加したため、訓練参加者数は増加している。	見直し	本市の総合防災訓練の参加者数は、コロナ後、市内小中学生全員が授業日として参加していることもあり増加しているが、防災・減災対策は、「自助・共助・地域防災力」の向上が求められることから、市民の防災施策の満足度を上げることで、より一層の防災施策の推進につなげるため。	危機管理課

4-2 交通安全・防犯対策の充実

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
交通安全教室の実施回数(保育園、幼稚園、小学校、中学校)	令和元年度交通安全教室開催実績より	23回	82.1%	26回	28回	28回	28回	100.0%	21.7%	36回	77.8%	稚園・保育園・小中学校ともに、年間1回程度の開催としていることや、本市への講師派遣を不要としている園・学校があることが要因と考える。開催回数に伸び悩みがある。また、少子化とともに園・学校の統廃合が進めば、さらに開催回数の減少が見込まれる。	見直し	交通安全教室は、幼稚園・保育園・小中学校が年1回程度の開催としていたり、本市への講師派遣を不要としている園・学校があったりすることから、開催回数以外の指標に見直す必要があるため。	危機管理課
高齢者向け研修会の開催回数	令和元年度研修会実績より	1回	50.0%	0回	1回	1回	2回	50.0%	0.0%	3回	33.3%	高齢者向け研修会では、主にサポートカー体験と高齢者向け交通安全講話を実施しているが、参加者は、自治会長や自治会の交通安全担当者がほとんどである。複数回開催しても参加者の顔ぶれに変わりがなく、費用対効果を鑑みると開催回数の増加が見込めないことが背景にある。	見直し	高齢者向け研修会の参加者は、自治会長や自治会の交通安全担当者がほとんどで、開催するたびに同様の顔ぶれとなる。自治会内でも、このような研修会への参加を負担に感じる声があることから、開催回数以外の指標に見直す必要があるため。	危機管理課
防犯実働隊の隊員数	令和元年度防犯実働隊保険加入実績より	148人	89.7%	148人	146人	139人	165人	84.2%	-6.1%	200人	69.5%	防犯実働隊員は、自治会や各地区の防犯担当者が担っている場合がほとんどであるとともに、その防犯担当者の高齢化と若年隊員の不足によって防犯実働隊員の担い手が要因であると考えられる。	見直し	防犯実働隊員は、自治会や各地区の防犯担当者が担っていることが多く、高齢化と若年隊員の不足によって担い手不足が深刻となっているため。	危機管理課

4-3 地域における防災力の強化

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
自主防災組織補助金交付事業の利用団体数	令和元年度自主防災組織補助金申請書件数より	60団体	92.3%	52団体	54団体	65団体	65団体	100.0%	8.3%	70団体	92.9%	自主防災組織については、現在103自治会・102組織が結成され、結成率は91.15%である。しかしながら、補助金の申請・活用団体は約6割程度に止まっている。また、コロナ禍において活動を自粛した組織もあったため、補助金の申請団体は減少傾向にあったが、コロナ禍が明け、自主防災活動を再開する団体も増えている。	維持		危機管理課

4-4 消費者行政の推進

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
消費者被害防止の啓発活動・出前講座の実施回数		25回	83.3%	0回	1回	8回	30回	26.7%	-68.0%	36回	22.2%	新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月に5類感染症に移行したが、令和5年度は感染防止の観点から出前講座の実施は1回に留まった。	維持		市民課

第六次白石市総合計画指標見直しの方向性一覧表

(資料5-2)

5-1 農林業の振興

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
白石市鳥獣被害対策実施隊隊員数		90人	94.7%	90人	89人	92人	95人	96.8%	2.2%	100人	92.0%	新規隊員が加入しているが、高齢等により、脱退する隊員が上回ったため。	維持		農林課
農産物直売所連絡協議会加盟店売上額		213,900千円	85.6%	224,868千円	255,506千円	253,089千円	250,000千円	101.2%	18.3%	275,000千円	92.0%	定例会議開催による情報交換、視察研修の実施、県庁販売会などのイベント出展を積極的にを行い、各直売所の特色を生かした運営に取り組んだため。	維持		農林課
みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度取得者数		3人	50.0%	10人	10人	10人	6人	166.7%	233.3%	10人	100.0%	高付加価値化に取り組む農業者に対し、みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度取得を推進してきたため。	見直し	計画策定時、環境負荷低減の取り組みを評価できる制度は、県認定のみであったが、法改正により、国認定の制度が新設されたため。	農林課
人・農地プランの実質化	白石市人・農地プラン	30%	50.0%	100%	100%	100%	60%	166.7%	233.3%	80%	125.0%	国から策定が義務づけられ、指定期限までに完了したため。	見直し	法改正による制度変更により、人・農地プランから地域計画に変更となったため。	農林課
新規就農者数 (人/年)	農業次世代人材育成事業 ほか	1人	50.0%	4人	10人	5人	2人	250.0%	400.0%	3人	166.7%	急激な人口減少と高齢化、若手農業者不足のため。	見直し	将来の担い手確保を見据えた支援を行い、就業後の安定的で収益性の高い経営を目指すため。	農林課
認定農業者数 (累計)	農業経営基盤強化促進法	74人	88.1%	65人	67人	66人	84人	78.6%	-10.8%	86人	76.7%	急激な人口減少と高齢化、定年延長による定年後の農業従事者減少のため。	見直し	営農者の経営安定に向けて、認定農業者移行の支援を行い、地域農業の担い手となる農業者の育成・確保を図るため。	農林課

5-2 商工業の振興

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
目標年次までの新規立地企業数 (累計)		0件	0.0%	0件	0件	0件	5件	0.0%	-	10件	0.0%	重点戦略4「働く場の創出」と同様に、新規立地企業数としているため、誘致が行われた場合や空き物件での操業などの実績値を記載することとなるが、現実的には誘致が決まっても造成等を行う必要があること、空き物件も数件しかないことから当分の間実績値を記入することができないものと想定される。	見直し	企業誘致のほか、増設等に伴う企業数を増やすことで、より一層の商工業の振興につなげるため。	都市創造課
製造業の製造品出荷額	経済センサス基礎調査・活動調査	16,602,453万円	98.8%	15,306,509万円	15,414,683万円	15,414,683万円	16,800,000万円	91.8%	-7.2%	19,000,000万円	81.1%	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が停滞し製造業全体が多大な影響を受けたことで、製造品出荷額が減少したと推察される。令和5年度に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類になって以降、経済活動が再開しコロナ禍以前の活動水準に回復しつつあるが、実績値が令和3年度経済センサス活動調査の結果によるため未達成となっている。	維持		商工観光課

5-3 観光の振興

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
市内観光宿泊客数	宮城県観光統計	135,916人	92.5%	67,432人	86,182人	117,510人	147,000人	79.9%	-13.5%	165,300人	71.1%	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が出されるなど、行動制限が行われ、国内外を問わず観光客が減少している。令和3・4年度においては、国の地方創生臨時交付金を活用して、デジタルスタンプラリーや宿泊割キャンペーンの実施、近隣観光客をターゲットにした東北六県のタウン誌に特集記事を掲載するとともに、SNSの充実強化を図るなど観光需要の回復を図った。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類になったことから、徐々に観光客が戻っているが、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の令和元年度には及んでいない。	維持		商工観光課
外国人の宿泊客数	宮城県観光統計	2,957人	58.0%	117人	169人	1,569人	5,100人	30.8%	-46.9%	8,265人	19.0%	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が出されるなど、行動制限が行われ、国内外を問わず観光客が減少している。令和3・4年度においては、国の地方創生臨時交付金を活用して、デジタルスタンプラリーや宿泊割キャンペーンの実施、近隣観光客をターゲットにした東北六県のタウン誌に特集記事を掲載するとともに、SNSの充実強化を図るなど観光需要の回復を図った。令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類になったことから、徐々に観光客が戻っているが、新型コロナウイルス感染症が蔓延する前の令和元年度には及んでいない。	縮小	R5達成度 (R5/目標) が19.0%と市内観光宿泊客数と比較して低くなっている。これは、日本人旅行者に比べ外国人旅行者が新型コロナウイルス感染症蔓延以前ほど戻ってきていないためである。また、東北への訪日外国人観光客においても、国全体の1%台に留まっており、訪日外国人の入国規制緩和後の旅行先は、東京・大阪・京都などのいわゆるゴールデンルートに集中していることから、中間値は令和元年度と同等の3,000人、目標値は令和元年度の外国人宿泊割合 (外国人の宿泊客数/市内観光宿泊客数) 2.2%を上回る2.5%を165,300人に乗じた4,132人と見直すため。	商工観光課

5-4 雇用・就労支援の充実

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
創業者数(人/年)	創業支援等事業計画	1人	33.3%	1人	1人	3人	3人	100.0%	200.0%	3人	100.0%	新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけが変わり、経済活動が回復しつつあるなかで、創業塾の開催をはじめとする創業支援を実施したことで、創業を志す方の掘り起こしが進み、令和5年度に目標を達成した。指標は毎年の創業者数としているため、令和6年度以降も引き続き事業を継続し目標達成を目指す。	維持		商工観光課
市内事業所従業員数	経済センサス基礎調査・活動調査	13,630人	102.5%	13,086人	13,186人	13,186人	13,300人	99.1%	-3.3%	14,000人	94.2%	令和2年度から新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済活動が停滞したことで事業縮小や創業・新規事業の抑制が掛かり、従業員数が伸び悩んでいると推察される。令和5年度に新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが5類になって以降、経済活動が再開しコロナ禍以前の活動水準に回復しつつあるが、実績値が令和3年度経済センサス活動調査の結果によるため未達成となっている。	維持		商工観光課

5-5 交流活動の促進

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成(未達成)の要因・背景	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
市民体育大会、地区体育大会の参加者数	実績より	4,470人	98.9%	0人	600人	3,230人	4,520人	71.5%	-27.7%	4,560人	70.8%	コロナ禍で大会を開催する地区が減少し、5類に移行した後も再開に至っていない状況にあるため、目標達成には至らなかった。令和6年度に再開する地区が出始めた。	維持		生涯学習課
鬼小十郎まつりにおける外国人来場者数	会場でのカウント	150人	83.3%	0人	31人	42人	180人	23.3%	-72.0%	300人	14.0%	令和元年と比べてコロナ禍以降、外国人来場者が減少していることが要因と考えられる。 また、外国人来場者数については、白石市国際交流協会が会場内で設置しているブースの利用者数を計上しているため、すべての外国人来場者数を把握することは不可能である。	維持		まちづくり推進課

5-6 移住・定住の促進

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	最終目標 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成に効果的な取組・背景 未達成の理由・課題	見直しの 方向性	見直しの理由	担当課
移住相談件数		29件	72.5%	35件	19件	28件	40件	70.0%	-3.4%	50件	56.0%	コロナ禍における活動自粛等により相談件数が減少した年もあったが、5類移行後は相談件数も回復傾向にあり、令和6年度においては12月末時点で令和5年度の実績を上回っている状況である。移住交流サポートセンターの機能強化を図りながら、目標値の達成を目指したい。	維持		まちづくり推進課
移住体験住宅の利用件数		12件	60.0%	4件	8件	16件	20件	80.0%	33.3%	24件	66.7%	コロナ禍における活動自粛等により移住体験住宅の利用件数が減少した年もあったが、5類移行後は相談件数も回復傾向にあり、令和6年度においては12月末時点で令和5年度の実績を上回っている状況である。移住交流サポートセンターの機能強化を図りながら、目標値の達成を目指したい。	維持		まちづくり推進課



6-1 豊かな自然環境の維持

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
生態系調査の実施回数 (累計)	第3次白石市環境基本計画	0回	0.0%	0回	0回	0回	1回	0.0%	—	1回	0.0%	生態系調査に係る費用が多額であることや予算確保等が課題である。しかし、現在、再生可能エネルギー発電設備の設置を予定している複数の事業者により環境影響評価が実施されているため、生態系についての情報が蓄積されつつある。	維持		環境課
環境関連イベントなどの開催回数	第3次白石市環境基本計画	0回	0.0%	0回	1回	1回	1回	100.0%	—	1回	100.0%	小学生を対象にした他部署の活動のプログラム提供という形で行ったことで、単独で募集するより効率的に小学生に体験の機会を提供できた。	維持		環境課

6-2 快適な生活環境の構築

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
水道管路の更新率 (累計)	白石市水道ビジョン	3.26%	65.2%	4.71%	5.23%	5.63%	5.00%	112.6%	72.7%	10.00%	56.3%	当市の水道管は古いもので昭和32年度に布設しており、不明管や竣工図との相違等があるため、スムーズな更新ができない状況となっている。老朽管の更新には道路の復旧も含まれ、昨今の急激な物価上昇も相まって工事費も増加しており、さらに更新率が上がらない要因となったと判断する。	維持		上下水道事業所
空き家等の利活用戸数 (累計)	白石市空き家バンク	0件	0.0%	1件	0件	0件	7件	0.0%	—	15件	0.0%	空き家の物件登録数が伸びない要因としては、所有者が近くに住んでおらず手続等が直ぐにできないこと、すでに空き家になってから数十年経過しリフォームをしないと住むことができない状態になっていること、状態の良い物件は不動産業者等で直接登録していることなどが挙げられる。	維持		まちづくり推進課
市内一斉クリーン作戦でのごみ回収量	第3次白石市環境基本計画	26.38トン	—	23.90トン	19.79トン	22.65トン	現状値より削減	達成	—	中間値より削減	—	公衆衛生組合連合会で作成した不法投棄禁止看板の配布等により地域の不法投棄の件数が減少傾向にあると考えられる。	維持		環境課

6-3 道路・公共交通の整備

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
しろいしサンキューロードプログラム登録団体数	第3次白石市環境基本計画	13団体	81.3%	14団体	14団体	14団体	16団体	87.5%	7.7%	18団体	77.8%	令和3年度に14団体となったが、目標の18団体の登録には達していない。主要団体は会員になっており、学校や建設業などにも促すが、検討するだけで増加していない。	維持		建設課
市民バス利用者数		98,556人	99.6%	80,116人	80,948人	81,408人	99,000人	82.2%	-17.4%	101,000人	80.6%	人口減少、少子化などの影響により、市全体の公共交通利用者の減少、運賃収入が低下し、さらに市の財政負担が大きくなっている中、一人ひとりに合った移動手段を既存の公共交通だけで確保することは困難であると考えられる。	維持		まちづくり推進課
住民主体の移動・外出サービスの導入地区数		0地区	0.0%	0地区	0地区	1地区	1地区	100.0%	—	5地区	20.0%	既存の公共交通では対応できない山間地域などにおける住民主体の新たな移動・外出サービスの整備に取り組むこととしている。現在、小原地区においてボランティア送迎が運行されており、白川地区において導入に向けて検討が進められているところである。	維持		まちづくり推進課

6-4 魅力ある都市空間の整備

指標	出典等	現状値 (R1)	現状達成度 (R1/中間)	実績値 (R3)	実績値 (R4)	実績値 (R5)	中間値 (R7)	R5達成度 (R5/中間)	伸び率 (R5/現状)	目標値 (R12)	R5達成度 (R5/目標)	達成 (未達成) の要因・背景	見直しの方向性	見直しの理由	担当課
都市計画道路の見直し進捗率	仙南広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針	83%	83.0%	83%	83%	100%	100%	100.0%	20.5%	100%	100.0%	R4.12に策定した第二次白石市都市計画マスタープランにおける用途地域及び都市計画道路は、R5年度中の都市計画審議会に上申し承認済みである。見直した道路は、次のとおりである。中河原白石沖線(一部)、森合雁狩橋線(一部)、白石沖西堀線(検討後保留)	見直し	令和6年度現在、都市計画道路全13路線35,340mのうち改良済である区間が21,257m(改良率60.2%)であることから、今後の都市計画道路整備の進捗状況を具体的に計るため。	都市創造課
景観法に基づく景観計画の策定進捗率	仙南地域広域景観マスタープラン「仙南地域広域景観計画」	67%	67.0%	100%	100%	100%	100%	100.0%	49.3%	100%	100.0%	令和2年12月に「仙南地域広域景観計画」を策定済みである。	見直し	公園・緑地は、景観向上の役割がある。令和6年12月に国が示した「都市公園法運用指針」では、豊かさや潤いを実感できる国民生活を実現するには、一人当たり10㎡以上の整備が必要であるとされており、平成6年建設省決定の「緑の政策大綱」では、目標値を「1人あたりの都市公園等面積20㎡」と具体的に設定していることから、目標値の20㎡を引用し、市民の豊かさや潤いを実感できる魅力ある都市空間の整備指標に見直すため。	都市創造課
都市公園施設の長寿命化の推進率	公園施設長寿命化台帳	78%	97.5%	78%	79%	82%	80%	102.5%	5.1%	100%	82.0%	令和元年度の長寿命化計画に基づき、令和2年度から令和5年度までに遊具等の公園施設の修繕、撤去、設置を行った。劣化等により危険度の高い遊具については、概ね対応済みである。(劣化はあるが安全性が担保されているものは保留)	見直し	前回の長寿命化計画は令和5年度をもって終了。令和6年度から先10年間は、新たな長寿命化計画に基づき事業を進める。新たな計画では、全施設数937施設、うち「概ね健全である(B判定以上)」が699施設、「健全ではない(C判定以下)」が238施設ある。「概ね健全である(B判定以上)」は全体の74.6%を占めているが、本計画ではこれを5年後に87.3%、10年後に100%とすることを目標としているため。	都市創造課
地域団体による街区公園・緑地の維持管理率	公園愛護会管理公園数	77%	96.3%	70%	70%	74%	80%	92.5%	-3.9%	100%	74.0%	都市公園30公園のうち、公園愛護会に管理を委託できているのは22公園。管理率は74%である。今後、R7年度策定予定の公園基本計画に基づいた愛護会のあり方も検討していく必要がある。	維持		都市創造課